

はばたき

厚木市立睦合中学校学校だより
令和2年7月31日発行
NO. 321

生徒自らの手で学校をつくる ～自治の力～

総括教諭

6月から段階的に学校は再開しましたが、まだまだ制限も多く、特に生徒の手による「自治的な活動」は、始まったばかりです。

自治的な活動の一つである部活動は「厚木市立中学校における部活動再開に向けたガイドライン」に則りながら、活動しているところです。この部活動は、教育課程外の活動ながら、礼儀や挨拶、仲間との協力や感謝、全力で取り組むことの楽しさなど、心身両面で多くのことを学び、身につけることのできるものです。

しかしながら今年度はオリンピックの延期や甲子園、インターハイの中止が報道される中で、全国総合体育大会(全中)や全日本吹奏楽コンクールも中止となり、地区総体も多くの競技で中止が決定されました。2年半の活動の集大成である総体やコンクールの中止は、特に3年生にとっては大きなショックだったに違いありません。慰めや励ましの言葉も簡単には見つかりません。

それでも部活動再開を心待ちにしていた生徒が多く、6月26日の部活動再開後からは、放課後の学校にも活気が戻ってきました。また、先日行われた地区の交流戦を通して、部活動にかけた時間や思いを存分に発揮できたことと思います。そして、活動が残されている生徒には、一日一日、一回一回の練習で仲間とともに活動できることに喜びを感じながら、励んでほしいと願っています。

自治的な活動のもう一つの大きな柱である「生徒会活動」。より良い学校生活にするために、生徒会本部や専門委員会などの組織を通じ、生徒自らの手で主体的、かつ自治的に運営されることも大切なものです。同時に“自分のため”ではなく、“学校全体のため”“みんなのため”を学ぶことができる場です。こちらの方も、学校行事の延期や合唱・清掃活動の制限など、思い描いた活動がなかなかできない状態ですが、定例の活動を充実させたり、今までの活動の見直しをしたりする良い機会としたいものです。

とは言え、生徒会活動は委員会に入っている人たちだけがおこなうものではありません。全校生徒ひとりひとりが「生徒会」の会員だからです。本日、生徒総会が行われました。生徒総会は、1年間の睦合中学校の生徒会活動の方向性を決める、最高審議機関です。ひとりひとりが自分事として捉え、より良い睦合中学校の姿を思い浮かべながら参加することができたでしょうか。

今年度の生徒会宣言は「翔 ～大空への一歩～」です。まだまだ困難な状況が続きそうですが、みなさんひとりひとりにとっても、この睦合中学校にとっても、大きく羽ばたく一年となるよう、一丸となって取り組んでいきましょう。学校を盛り上げ、つくり上げていくのは自治の力。生徒自身の力なのですから。



厚愛地区交流戦 2020 を終えて

総合体育大会の中止を受けて計画された厚愛地区交流戦 2020。これで多くの運動部 3年生は部活の引退を迎えます。交流戦を終え、引退を迎えた今の気持ちを各部の部長に語ってもらいました。これから交流戦を行う部活については次号に掲載予定です。



男子バスケットボール部 部長

今回の交流戦は2試合、しかも通常の試合の半分という状況でした。もう少し、たくさん試合がしたかったというのが正直なところです。でも、その交流戦では2試合とも勝つことができずごく嬉しかったです。3年生だけで戦って勝った試合と、2年生の力を借りて勝った試合がありました。特に最後の試合では、3年生だけで戦って勝ったという喜びと、いつも試合に出ているメンバーと一緒に試合ができて勝ったという二重の喜びを味わうことができました。交流戦で引退した感じは正直ありません。もっとこのメンバーでバスケをしたいと思っています。

女子ソフトテニス部 部長

私達は交流戦2020で約2年の部活動生活を引退しました。部活動は本当に長いようであっという間でした。振り返ってみると、ただただ楽しかったし、仲間同士たくさんぶつかりあったりもしました。

ですが、私は2年経った今、テニス部は私にとって一番、「ありのままの自分でいられて気をつかわなくて良い場所だったんだな」とやっと気づくことができました。きっと、みんなもそうだったのではないのでしょうか。だからこそ、たくさん喧嘩をしてぶつかりあったのだと思うと本当に引退が悲しいです。後輩の皆さんも日常の当たり前なことは、今しかできない大切なことだと思い、時間を大切にしてくれたらうれしいです。支えてくださった先生方、テニス部のみんな、約2年間本当にありがとうございました。



バレーボール部 部長

私たちは総体を目標とし9人で約2年間半つらいことや楽しいことを乗り越えてきました。けれど、総体がなくなってしまいこのまま不完全燃焼で最後なんだろうと考えていました。ですが、沢山の先生方や保護者の方、他にもさまざまな方のおかげで交流戦という形で試合をする場をつくっていただき、笑顔で最後を迎えることができました。交流戦は、とてもはやく時間が過ぎてあっという間の楽しい時間でした。最後までこの9人と一緒にプレーをできて良かったです。私達に関わっていただいたすべての方々に感謝でいっぱいです。

女子バスケットボール部 部長

今年は、新型コロナウイルスの影響で総体が無くなりました。最後の試合が出来るかすらわからない状況の中、部活動の時間が制限され満足に練習のできない短い時間のなかでも、残された時間を有効に使い悔いの残らないように一生懸命に練習して迎えた交流戦でした。それぞれがたくさんの思い出を胸に一点一点を大切に戦いぬき、今まで勝つことの出来なかった相手にも勝つことが出来て、悔いの残らない試合になりました。女バスの皆、今までありがとう。そして今まで応援して下さった先生方、保護者の皆様本当にありがとうございました。



卓球部 部長

交流戦では、負けそうだったり、おもしろい場面もありましたが、それぞれが練習の成果を十分に発揮し、最後まであきらめずに試合をやりきることが出来ました。この交流戦で引退ということなのですが、正直誰も引退したという実感がなく、なんとも言えない時間ですが、これから受験勉強に集中していくにつれて、徐々に部活から離れていく事で引退したという実感がわいてくると思います。今後コロナの影響でどうなってしまうかわかりませんが、今自分ができることから始めていきたいと思っています。